

 ボーイスカウト尾張東地区広報誌	①***** ②各団の活動報告 ③***** ④*****		第 32 号平成 6 年 11 月発行 日本ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区 組織拡充委員会 広報部会 編集・発行 編集責任者
--	--	--	---

◇「スカウトだけで作る料理対決！」

日進第 2 団
カブ隊 石川 真由

スカウト達が楽しみにしている活動のひとつである料理対決が開催されました。隊長からのお題は「粉もの」。お好み焼きと、粉を使ったデザートを組ごとに作ります。

1 週目組集会でメニュー決め。お好み焼きにどんな具材を入れようか、デザートを何にしようか？皆で真剣に話し合いました。料理対決の前日の買い出しでは、子ども達だけで何種類もの具材を買うのは大仕事です。スーパーを何周も回って（付き添いした主婦の私はやきもき^^;）なんとか材料を買いました。

いよいよ当日。

「大人は手を出さない。口は出しても OK」のルールのもと、ガチンコ勝負の幕開けです。真剣に取り組む子、手持ち無沙汰にその場を漂う子、類まれなる料理センスを発揮する子。失敗もありつつ何とか時間までに完成しました。スペシャル審査員として団委員長と副団委員長にもお越しいただき、審査開始です！結果は 1 ポイント差で 2 組の勝利！！

隊長からの「毎食当たり前のように出てくるご飯は、お父さんお母さんがこんなに頑張って作ってくれているんだね」という言葉に心を動かされたスカウトもいたようです。

今回の活動を機に、家のお手伝いももう少し頑張ってくれればいいなと思います（笑）



◇「防災体験に行こう！」

日進第2団
ビーバー隊 和田 裕之

8月25日に豊田市防災学習センターに行きました。1月1日の能登半島大地震と今年の夏の宮崎での地震があり、防災に対する世間の関心が高まりました。それで各地の防災センターを訪れる人が例年より格段に多くなり、私達のビーバー隊でも予約が取れ訪れました。台風の暴風体験や地震の揺れの体験及び水消火器を使用した消火体験を行うことが出来ました。

以下が、ビーバースカウトの感想です

村田 怜

消防車の前で写真を撮ることが出来て嬉しかったです。どうしてかと言うと大勢で撮ったからです。
煙の訓練が楽しかったです。

宮原 陽大

台風の風の体験が面白かったです。
地震の揺れ体験も楽しかったです。



「ロープワーク」

春日井第4団 BS 隊 伊藤結嘉子
ボーイスカウトといえばロープワーク。ロープワークといえばボーイスカウト。というように、ボーイスカウトとロープワークは非常に密接な関係にある(と考えている)。この夏の団キャンプで我がボーイ隊は丸太10本とロープ、合板のみで机とイスが合体している工作物を作った。丸太はとても重く、長く、一人では持ち運べないほど。なかなかうまくいかず、最初に寸法の通りに作り始めたはずが、完成したものはだいぶミニマムになっていた。夏キャンのときボーイ隊は4班で構成されており、各班同じ寸法で作ったはずが、それぞれ全く違うものになった。その中でも、我がオオカミ班は合板を載せる丸太が傾き、机自体が傾くというなんとも使いにくい結果になってしまった。が、3日間この机で耐えきることができた。今回のキャンプで作った机とイスは各班の個性が表れた工作物だったと思う。このボーイ隊での4年間、ロープワークで色々なものを作ってきた。ブランコや信号塔など人が乗っても崩れないものも作ることができた。来年はベンチャー隊に上進する。次の夏キャンは何を作ろうか。



夏キャンの思い出

春日井第4団 BS 隊 小川詩織

私が夏キャンで印象に残っているものは料理の鉄人です。調味料の分量などは知らされず、班のメンバーで試行錯誤して料理を完成させることが出来ました。このようなことを通して班のみんなと協力し、仲を深めることが出来てとても楽しく、印象に残っています。



最後の仕事

春日井第4団 BS 隊 小野騎一

私は、8月にボーイ隊の班長として和良大月の森で夏季野営訓練に参加しました。

一部のみの参加でしたが、キャンプは快晴で、場外プログラムのラフティングや、場内でスイカ割り、川遊びなど夏のキャンプでしかできない事を楽しめた一方、ボーイ隊の班長として活動できる最後のキャンプでもあったので、最後まで責任を果たそうと活動に取り組みました。

班長としていろいろ大変な事もありましたが、自分の役割でしかできない貴重な体験もでき、とても思い出に残る活動となりました。

今は受験のために活動から離れてしまっていますが、活動に戻ったらベンチャー隊として責任と思いやりの心をもって活動をしていきたいです。



手作りカレー

春日井第4団 BS隊 小境美紅

私は、夏キャンプで班対抗の料理対決をしました。
私の班はキーマカレーを作りました。

決められた食材・調味料で料理を行いますが、味付けや具材の大きさは班員とみんなで相談し、カレー粉やソースそしてコンソメ、黄金糖などで"カレールウを自作する"というこだわりの詰まった、最高に美味しいキーマカレーを作ることができました。優秀班にこそはなれませんでした、班で協力し、素敵な思い出が出来ました。



「受け継がれるパフォーマンス」

春日井第4団 BS隊 堀田 理森

春日井第4団ボーイスカウト隊では、春日井市民納涼祭をはじめ、毎年餅つき大会やB P祭でお世話になっている「ひなご幼稚園」や団行事の夏キャンプなどで約40年間トーチ・トワリングを行っています。

トーチ・トワリングは愛知県発祥で、火のついた棒を型に沿ってみんなで息を合わせて回すパフォーマンスです。

トーチ・トワリングを行うのが初めての小学校6年生のスカウトは、トーチ棒を回したことがないので、慣れないうちはすぐに指の皮がむけます。

しかし、火を扱うことはとても危ないことなので、先輩スカウトとして約1ヶ月の間、毎日集まり教えています。

また、教えるといっても口頭で説明するだけでなく実際にトーチ棒を回して教えるので、とても腕が疲れてしまいます。

毎日行かなくてもいいかと思うこともありましたが、自分が教えた後輩がどんどん上達していき、火をつけた本番で息のあったパフォーマンスが観客に凄いと思ってもらえた時は、教えた側としてもとても嬉しかったです。

数年後には、小学校6年生も教える側になるので、自分が教えた技術が後輩に伝えられていくと思うととても誇らしい気持ちになります。

